

番 号
令和6年6月23日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市久保田町大字久保田86番地1
団 体 名 特定非営利活動法人愛未来
代表者職・氏名 理事長・竹下敦子
電 話 番 号 090-2583-4716

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和5年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人愛未来
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

<p>■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像</p> <p>佐賀県民のフェアトレードに対する理解者を増やし、フェアトレードタウンをめざす。パラオで健康対策の支援など国際協力の社会貢献をする。</p>

4 事業の成果

<p>①県民の便益にどのようにつながったのか</p> <p>① 毎年5月第2土曜日は、世界フェアトレードデーであり、佐賀駅前広場で9店の出店によるマルシェを開催した。参加者には、誰でも気軽にできる買い物を通じた国際協力という社会貢献活動であり、SDGsの実践行動であるフェアトレードに取り組んでもらうことができた。</p> <p>② 佐賀大学医学部肝疾患センターと協力し、フィブロスキャン（肝臓の硬さや肝臓内脂肪量度合いを測定する機器）等を使った健康調査を実施するとともに、ベラウ国立病院と連携するなど、パラオとの友好交流を深めるとともに、国際協力を実践することができた。</p>
<p>②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）</p>

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		1,006,014
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	1,006,014
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	993,750
	前年度控除額(県事務経費)還付分	12,264
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		759,375
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	411,113
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	348,262
	返礼品等の調達に係る費用	230,757
	返礼品等の送付に係る費用	67,505
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	50,000

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	246,639
-------------------------------------	----------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://aimirai.jimdofree.com/>